

報道 関係者 各位

## 日本のインターネット利用人口は6,284.4万人 ブロードバンド人口は2,000万人を突破し 初めてナローバンドを上回る(2004年2月末現在)

アクセスメディアインターナショナル株式会社(以下AMIと略す 本社:東京都港区南青山、代表取締役 越智 淳夫)は2004年2月末までの日本のインターネット利用人口、及び2003年末までの世界のインターネット人口、また、インターネット利用動向に関する調査結果をまとめました。

本調査は1996年から毎年数回、電話による「普及率調査」とウェブ調査による「利用実態調査」を行っている「AMI 日本のインターネット動向調査」に基づくもので、本リリースでは予測を含めたインターネットの利用人口推移とインターネットの利用動向についてお知らせいたします。

### 本リリースのポイント

#### [＜普及率調査からの Findings＞](#)

- 日本のインターネット利用人口は、2004年2月末時点で6,284.4万人(前年比111.3%)
- ブロードバンドの利用人口は2,214.5万人となり、ナローバンド利用者を初めて上回る

#### [＜インターネット利用実態調査からの Findings＞](#)

- コンピューターウイルス被害経験は昨年から倍増の48.2%

---

## AMI インターネット動向調査2004の結果と市場予測

---

### ＜普及率調査から＞

日本のインターネット利用人口は、2004年2月末時点で6,284.4万人と昨年の同時期(2003年2月)の5,645.3万人から11.3%の増加であった。普及が進んだことで伸び率は鈍化している。

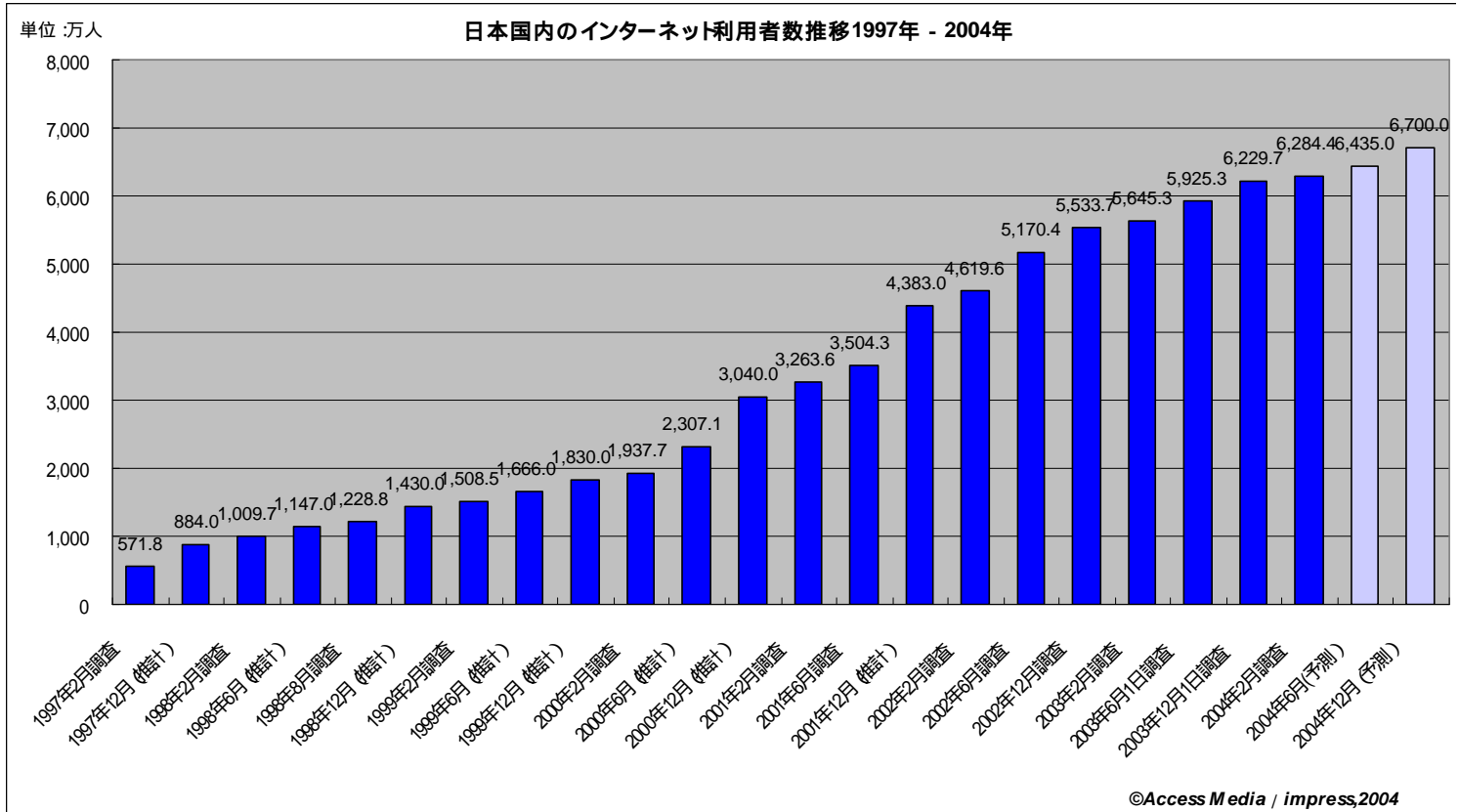
一方、インフラ整備や機器の開発を必要とする「ブロードバンド化」については世界的に見て先進国の一翼を担っており、インターネット利用世帯の48.1%がブロードバンド接続となった。ブロードバンド接続の中心は世界でも利用料金が低価格に抑えられているADSLが主流である。また、1世帯あたりのブロードバンド接続利用者はナローバンド利用世帯と比べ多いため、世帯普及率は50%を下回るものの、今年初めてブロードバンド利用人口は2,214.5万人と、ナローバンド利用人口の2,123.7万人を初めて上回った。

これは、AMIが1996年より毎年行っている全国レベルでの電話による普及率調査(調査対象:100,107世帯、有効回答数:43,027サンプル)によるものである。(表1)

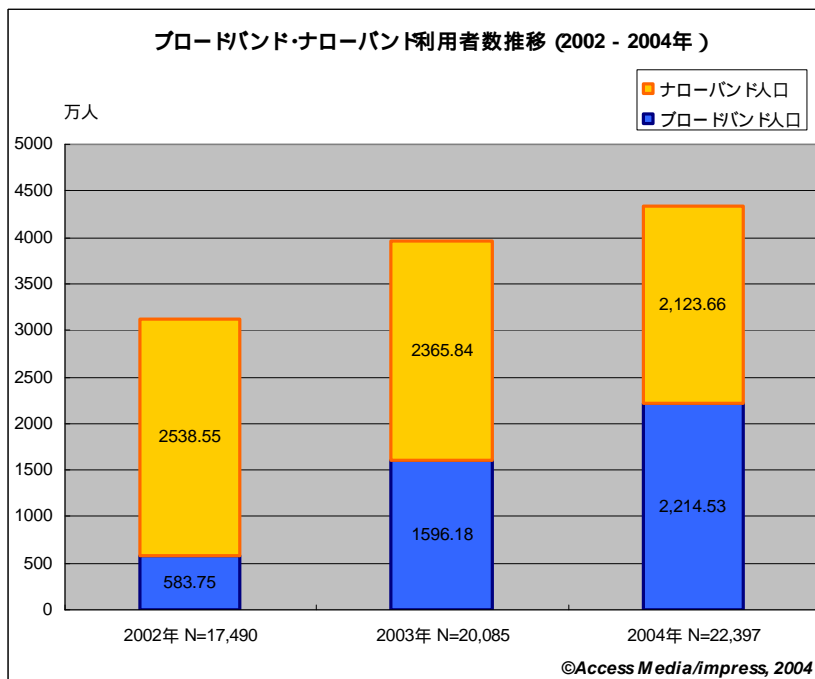
# AMI News Release

2004/07/01 (通算 19号)

**(表1) 日本国内のインターネット利用者数推移 1997-2004**



**(表2) ブロードバンド・ナローバンド利用者数推移 (2002-2004年)**



(\*)ブロードバンド接続とは、ADSL/xDSL、CATV、FTTH (光ファイバー)、公衆無線 LAN アクセスポイント、専用線接続、第三世代携帯電話による接続方法を指します。ナローバンド接続とは、基本的には ISDN を含む電話回線によるダイヤルアップ接続を指しますが、第三世代携帯電話以外の携帯電話/PHS をデータ通信に利用した接続、データカード使用のデータ通信もダイヤルアップ接続としています

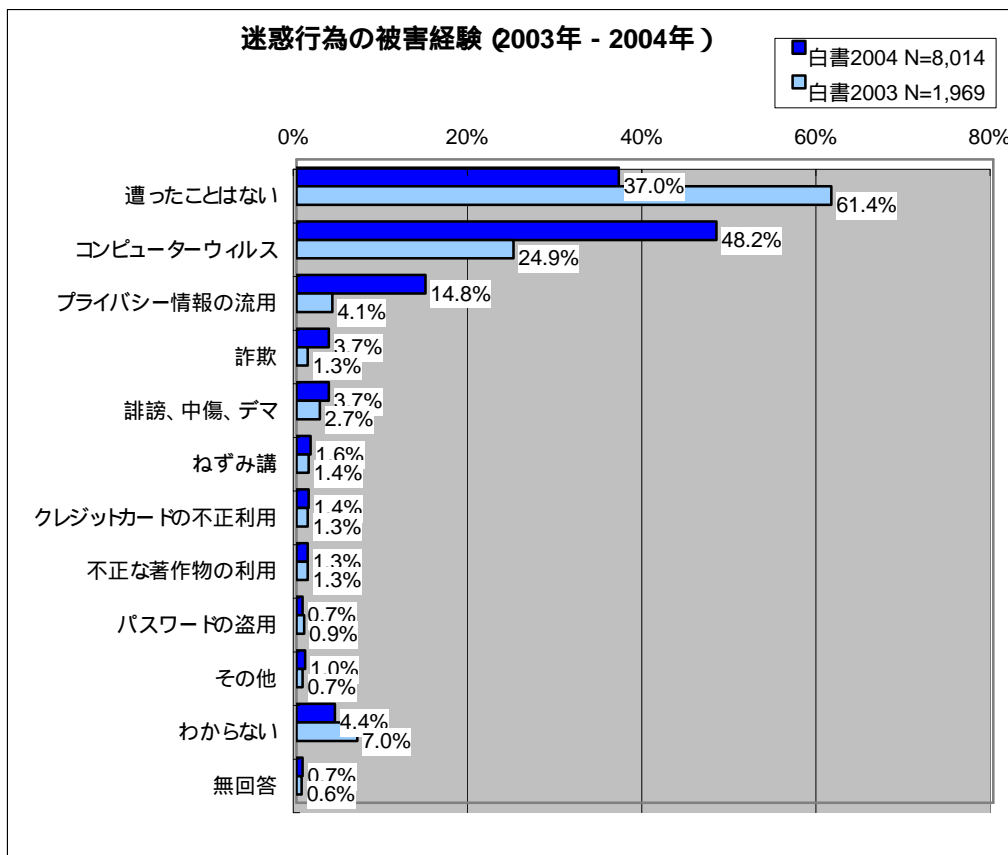
# AMI News Release

2004/07/01 (通算 19 号)

## < インターネット利用動向調査から (有効回答数 8,014 サンプル対象) >

個人のインターネット利用者はブロードバンド化により常時接続という利便性を手に入れたが、同時にセキュリティという面からは長時間外界と繋がっていることによるリスクを背負うこととなった。そのため、実際の被害経験も急激に増加傾向である。特に「コンピューターウイルス」については、この1年で1.7倍に増加している。(表3)キャリアやISPによる迷惑メール対策やセキュリティ対策も動き出しており、個人のセキュリティ意識が高まっていることも事実であるが、現実的には対策はまだ追いついていない。

(表3)インターネットでの被害経験 (2003年-2004年)



# AMI News Release

2004/07/1 (通算 19号)

なお、これらの結果と詳細データについては7月1日発売の「インターネット白書 2004」(財)インターネット協会 監修、株式会社インプレス発行)でも一部掲載される予定です。

この調査では、日本におけるインターネット普及の状況(パソコンや携帯電話など利用機器ごとの利用者規模、自宅、勤務先・学校、それぞれの環境でのインターネット利用者規模、同一世帯内での家族の利用状況など)をセグメント別に調査しました。これらの「インターネット白書 2004」に掲載しきれなかった完全レポートは、AMIマーケットスタディ「日本のインターネット動向調査 2004」レポートとして販売いたします。弊社へ直接お問い合わせください。

## AMI Market Studies 「日本のインターネット動向調査 2004」

1. インターネット利用者の利用環境実態調査
  2. インターネット利用者のプライバシー、セキュリティに関する実態調査
  3. インターネット利用者のオンラインショッピング・オークション利用実態調査
  4. 利用サービス・アプリケーション実態調査
- 回答者プロフィール

### 納品形態

Excel形式のクロス集計表(CD-ROM)にてご提供

## アクセス メディア インターナショナル株式会社の事業概要

- IT関連事業におけるリサーチ、各種主要企業・機関へのオフィシャルデータ情報の提供サービス
- IT関連企業へのマーケティング戦略の策定、PR海外進出、新規分野参入の支援を含むコンサルティング
- IT関連企業間における業務提携、ビジネスパートナーの斡旋を含むアライアンスのご提案、インキュベーション
- その他、広告代理店へのコンサルティング、イベント企画、コンテンツ・デザイン&製作など

本リリースに関するお問い合わせ

アクセス メディア インターナショナル株式会社 広報室

T:03-5467-5771 / F:03-5467-5785 E-mail : [info@ami.co.jp](mailto:info@ami.co.jp) [url:www.ami.co.jp](http://www.ami.co.jp)

